

令和5年度 自己評価チェックシートまとめ

認定こども園松葉幼稚園

(評価) A-しっかりしている B-ややしている C-まったくしていない

19名回答

評価項目	内 容	評 価				これからの課題だと思 うこと	その具体的な例	課題を次に生かし、出来る、 やってみようと思うこと	その具体的な例	
		A	B	C	わからない					
① 保育の計 画性	園の理念、 教育・保育 要領、教 育・保育課 程	●園の建学の精神や理念、教育目標を理解している	10	8	1	0	・理解はしているつもりでも 実践となると経験が不足している ため戸惑う ・どのようなことを重点としてい るのか自分自身が理解を深めるこ と ・園長と保育者、保育者同士で話 し合う時間の確保	・どういう意図でその活動や遊 びを行っているかわからず保育 してしまう ・同僚先輩保育教諭と話す ・どういう保育、教育をしてい るのか質問された時に相手に理 解してもらえるような応えか。	・理解できなかった際は分から ないままにしないこと ・一つひとつ担任の先生方に確 認し共有する ・子どもの実態と教育要領や指 導計画の内容を見合わせて、ど のように子どもと関わるか考え て保育する	・クラスでの反省会で意見を出 す ・一人で悩まない ・カリキュラムの時間をきちん と設け、話し合い理解してもら う ・実態に即して作成することで 保護者に園の考えを伝えられる
		●教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や保育者と話し合う	6	11	2	0				
		●指導計画は、教育・保育要領、教育・保育課程そして幼児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	11	8	0	0				
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある環境を構成する	13	6	0	0	・楽しんで遊べる環境とは何か考 える ・自然に触れる楽しさを伝えるに は ・子ども達が作った物を保育室に 継続して置いておくことが難し い、その為遊びが単発になってし まう ・もう少し先を考えて行動する ・子ども達が持っている興味、関 心に合わせた環境の設定 ・発達を促せるような環境設定 ・子どもの主体性、意欲を引き出 す言葉かけ、環境設定	・季節にしか出来ない遊びを 考える ・保育室の環境設定（絵本、 コーナー遊び） ・遊びの提供や教諭の言葉が けの工夫 ・必要な物が作れるコーナー を作る ・次を考えたスムーズな動 き、サポート ・いつもと同じ、と考えない	・遊びが継続して次々に主体 性が育まれるよう、スペース の使い方を工夫 ・生活一つひとつを新しいも のと捉えること ・興味、関心をとりあげ保育 の中で展開していく ・クラスや活動に合っている か相談しながら取り組む ・子どものその後を考えて環 境構成をしていく	・活動と活動のつなぎ、 行動や作業がスムーズに 行えるようにする ・花や葉を使ったあそび を考える ・ホールを活用 ・環境構成を事前に予測 し準備
		●幼児が積極的に取り組んでみたくなるような働きかけをする	10	9	0	0				
		●幼児が主体的に関わりたくなるような素材や遊具・玩具に配慮し、必要な数量を用意する	8	11	0	0				
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるような環境を再構成する	10	9	0	0				
		●園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	8	11	0	0				
	評価・反省	●自己の保育についての評価・反省をさまざまな観点から行う	5	14	0	0	・周囲に相談、情報共有 ・客観的に自分の保育の在り方が どうか知る必要がある ・自己評価を含め今後の自己を見 つめ直し ・評価、反省の観点を広げる	・日々の積み重ねと向き 合う ・日々の保育に追われ話 し合いの時間が取れない	・日々のコミュニケーションの中 で保育について話す機会をつ くる ・自分で振り返るだけでなく助 言をもらう ・できることから少しずつ	・反省だけでなく次にやってみ ようとする情報の共有 ・公開保育や日頃から他の保育 者の動きから学ぶ、振り返る機 会をつくる
		●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に生かしている	4	14	1	0				
② 保育のあ り方、幼 児の対応	健康・安全	●日頃から園内の危険箇所に配慮する	14	5	0	0	・安全点検を常に心がける ・常に視野を広く ・危険箇所を把握、気づいたら報 告し改善出来る所は改善 ・処置についての知識が無い	・朝一番に保育室内を忘れず 点検 ・ヒヤリハットの記録、上司へ の報告、職員同士の共有	・確認することを習慣化 ・声を掛け合う ・小さな変化を見抜いて適切に 対処する ・事故や怪我を把握、共有	・朝の欠席報告、子ども達の 顔、行動をよく見る ・ケガの対応はするが全てが把 握出来ていないことが有る
		●毎日の園児の出欠確認、健康視診を忘れずに行う	16	2	0	1				
		●事故や怪我が発生した場合は迅速に適切な処置を行う	17	2	0	0				
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	14	5	0	0	・思いを受け止め、見通しを考え 接する ・個に応じた関わり ・園児の気付きに目を向ける ・園児の姿を認める	・話す、遊ぶ中から理解を深め る ・理由、原因を決めつけない ・苦手、意欲のない子どもへの 声かけの工夫	・ゆっくり関わられる、心の余裕 を持つ ・様々な視点で捉える ・一人ひとりと丁寧に関わり理 解していく	・じっくり遊べるものを用意 ・遊びだけでなく生活全般で捉 える ・気になる姿など常に共有
		●幼児同士のかかわりの姿から、個々の成長発達をふま え、見通しを持って理解する	10	9	0	0				
	指導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	12	7	0	0	・年齢に合った接し方が難しい ・日々の反省、記録などしっかり とする ・慣れすぎ言葉遣い、行動に気 を付ける	・求めすぎてしまう ・一方的な思いでなく双方どち らの話もよく聞く ・子どもが大人の真似をするこ とを意識	・一人ひとりに合った援助をす る ・参考書等で子どもの発達等に ついて勉強 ・感情的に声かけしないよう注 意	・出来ないこと、出来る ことを見極めていく ・発達の理解不足
		●規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がける	12	7	0	0				
		●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助、支援をする	10	8	0	1				

③ 保育者の 資質・能 力	姿勢 能力 義務 組織	●ふさわしい清潔感ある服装、髪型、身だしなみを心がける	15	4	0	0	・円滑に活動が進むよう行動 ・問題共有化の時間が取れない ・自分の意見をしっかり持つ	・報告、連絡、相談をきちん とする ・ 様々な方面で考える ・研修や園内研修への積極的 な心がけ ・新聞を読む ・責任を担う ・話し合いのばで顔が浮かば ない	・日頃から保育者としての自覚 をしっかりと持つ ・自分の意見を持つ ・話し合いの時間が少なくとも 少しでもエピソードを話し共有 する ・気づいたことはすぐ伝える ・分からないことや確認はきち んと行き、進んで行動できるよ うにする ・守秘義務は信頼、信用に繋が るので常に気を付ける ・他学年の子にも積極的に声を かける	・率直な意見を伝え、よ り良いものを作るよう 行動 ・役割、義務など分かっ ていないことが多いので 確認する ・他学年との交流の場を 増やす
		●職務上の情報等の秘密を守秘する	19	0	0	0	・先輩、後輩の関係性、周りとの 協調性			
		●社会人の常識をふまえ、行動する	16	2	0	0	・人任せにせず自分の考え、行動 に自信を持つ			
		●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を 持つ	16	3	0	0	・保育者としての教養、感性を高 める			
		●率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努める	6	13	0	0	・基本的なことを何年経験しても 気を緩めず気を付ける			
		●当番や役割義務など、課せられた業務は確実に 行う	17	2	0	0	・チームとしての自覚 ・全園児の名前と顔が一致しない			
		●保育者としての感性・教養を深める	6	13	0	0				
④ 保護者へ の対応	対話・交流 クレーム対 応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	11	8	0	0	・保護者とのやりとりも小さいこ とでも共有する	・明るく接し、子ども達の様子 をお伝えする ・バス児、早朝、延長保育利用 児の保護者と接することが難し い ・自分では答えられないような 内容には注意 ・必要事項のみのお伝えで、子 どものその日の良い姿などお伝 え出来ない場合が多い ・アンケートを取る ・話していて距離、壁を感じて しまう	・これから明るい保育者を目 指す ・愛育欄や園だよりで少しでも 子どもの様子がわかる文章に心 がける ・保育参観や行事等で来園した 際には、明るく笑顔で挨拶する ・良いところを沢山伝えていき たい ・相談事、要望に耳を傾ける	・笑顔を絶やさないようにする ・挨拶時の目線に注意 ・丁寧な対応、言葉遣い ・相手にわかりやすいように話 す ・よく相談した上で理解しても らえるよう詳しく返答をしたり する ・挨拶＋一声かける ・家庭での親子の会話につなげ られるようにする
		●保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	16	3	0	0	・保護者に安心して任せてもらえ る保育者になる			
		●保護者との対応には公平さを信条とし、保育時間外でも 誇りと自覚を持った言動・行動を心がける	17	2	0	0	・なかなか話す機会が無い保護者 がいる			
		●電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	11	8	0	0	・上司への相談、報告 ・保護者対応について学ぶ			
		●保護者からの話して、自分では判断できない場合は、園 長・主任に報告、連絡、相談をする	19	0	0	0	・電話の内容を復唱する ・登降園の際に様子を伝えて安心 に繋がるようにする			
		●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し、 共通理解のうえで対処する	17	2	0	0	・保護者に信頼される保育者にな るには？			
⑤ 地域・自然・社会 とのかかわり	地域・自然・人 とのかかわり	●地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	4	13	2	0	・地域に目を向ける ・どこで見られているかわからな いので挨拶をしっかりと	・地域のイベントに参加 ・散歩や園周清掃 ・情報を得る	・園だよりなど園の情報を地域 の方々に配布 ・地域の方々に明るく挨拶	・自分から挨拶できるようにす る
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がける	11	7	1	0				
	小学校との 連携	●小学校の教育内容について理解するよう努める	3	10	6	0	・小学校の教育に目を向ける ・年長担当以外も関わる	・小学校の行事等に参加し園全 体で連携を図る ・園でできることを共有	・年長担当でなくとも幼稚園の 中のつながりも意識する ・行事等に顔を出す	・職員会議等で情報を共有する
		●地域の小学校行事や公開事業等に関心を持つ	2	10	7	0	・連携の時間が難しい			
	子育て支援 地域への開放	●子育て支援や地域開放について、内容を理解する	5	12	2	0	・子育て支援、地域開放について 学ぶ	・親子広場、地域開放の日を多 くする ・親同士の交流の場の設定	・保育室、保育士の確保 ・きょうだいの名前も呼んでい く	・交流の中で自分のできるこ とを見つけていく
		●子育て支援や地域開放について、教職員全体で取り組む	1	14	4	0	・自園のことしか知らない現状			
⑥研修と 研究	研修・研究 への意欲・ 態度	●研修会や研究会には自己課題をもって積極的に参加する	5	9	5	0	・学びたい気持ちを持つ ・自己課題を持って参加する	・レジュメに目を通す、課題、 科目を知っていても普段の保育 を振り返っていない ・日々進む情報を知る ・自分に生かせることを見つけ る	・先輩に相談し保育の見直しに つなげていきたい ・事前に考えていくことで次の 保育につなげていける ・参加だけでは無く学ぶ姿勢の 向上	・短い時間で反省し、振り返 る
		●自分の保育について自己課題をもって研究を行う	3	12	4	0				
		●自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主 任、園長に相談する	11	8	0	0	・ヒヤリハット、食育の研修に参 加したい			
	保育者とし ての専門性 に関する研 修・研究	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に行かず研修に参 加したり研究を行う	4	11	4	0	・研修に参加しても保育に生 かせていない ・研修に参加する機会が少な い	・ドキュメンテーショ ン、サークルタイムなど を活用 ・記録の取り方、愛育 欄、要録の取り組み ・情報の共有、園内研修 ・研修会で自分のできる こと、まだやっていない ことをしっかりと勉強	・日々の保育の振り返り ・発達理解に努める ・何が大切かまとめてい き、書く時に生かせるよ うに ・自ら受けてみたい講座 などの研修があれば相 談、参加してみる ・各自で研修していくよ うにする	・日誌を活用し、幼児の 姿に合わせ自身の言葉が けを意識できるよう記録 をとる ・園の研修ではなく自ら 探したり、スキルアップ したい研修があれば相談 する ・本を読む ・勉強する
		●記録の取り方、考察の仕方に関する研修に参加したり研 究を行う	2	10	7	0	・専門性を高める事が出来て いない			
		●教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修に参加し たり研究を行う	3	10	6	0	・研修に参加した職員に話を 聞き学ぶ			
⑥研修と 研究	保育者とし ての専門性 に関する研 修・研究	●実践に基づいた評価方法と計画に関する研修に参加した り研究を行う	2	10	7	0	・意見や情報交換をする ・与えられた研修だけでいい と思わない			
		●幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修に参 加したり研究を行う	4	8	7	0				

	加したり研究を行う												
	●保護者への対応に関する研修に参加したり研究を行う	4	9	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としてのスキルアップを目指す ・他の保育者の研修レポート等から学ぶ 		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な研修の姿勢を持つ ・研修だけでなく調べることの大切さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことをそのままにしない 				
	●組織内の協力・連携に関する研修に参加したり研究を行う	4	8	7	0								
今日の課題に関する研修・研究	●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について理解する	11	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の持ち方、研修の充実 ・気になる子の理解、その対応について、分からずプレしてしまう ・アレルギー児の有無、支援が必要な園児がいることを知っておく ・ケガをしないように環境設定をもっと考える必要性 ・今日の課題に関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な研修を受ける ・支援のやり方について共通理解 ・未満児にとっても危険な箇所が無いかしっかり確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修したことを実践 ・気になる子への対応を臨機応変に且つ自分がプレずに関わる ・園児が困らないように対応していく ・新しい情報を受け入れる ・自分の調べたことを相手に伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育や他のクラスの子どもと関わる際には十分注意する ・調べて習得する気持ちを持つ ・話せる環境作りに心がける 				
	●預かり保育や子育て支援について研修する	3	9	7	0								
	●幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	2	10	7	0								
	●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について研修する	5	10	4	0								
	●社会情勢について関心を持ち、研修する	1	10	8	0								